

## 会 議 録

会 議 名	令和5年度文化によるまちづくり推進委員会部会（C班）	
開 催 日 時	令和5年10月11日（水） 18時30分～20時	
開 催 場 所	市役所3階 小会議室	
出 席 者	湯城 明彦（班長）、斉藤 大二郎、比嘉 朝康、池上 雅代、松永 進	委員数 5人 出席者数 5人
欠 席 者		欠席者数 0人
事務担当課 及び職員	協創部文化スポーツ推進課 奥・別府	
	<b>事務局が作成したアンケート（案）について</b>	
事務局 （奥）	事務局からアンケート（案）について、対象者やスケジュール・B班からの意見を説明した。	
委員	Q.14の選択肢10その他にも具体的に記入できる欄を設けてはどうか。	
事務局 （奥）	対応します。	
委員	対象者小学生とあるが、教師が一つずつ説明しても回答するのが難しいので、小学生は省いて、保護者だけで良いのではないか。	
事務局 （奥）	今回の対象は小学生の保護者、中学生、中学生の保護者に絞ります。	
委員	Q.2年齢を問う質問は、保護者や一般向けは今のままでいいが、学生向けには「1.中学生 2.高校生 3.大学生・・・」という形にした方がわかりやすいのでは。	
事務局 （奥）	対応します。	
委員	Q.5だが、不二輸送機ホールで開催されている催し物はこの選択肢であげられているものだけではないはず。文化協会主催のコーラスフェスティバル等もあるがここに列挙しないのか。	
事務局 （奥）	B班からも同様の意見が出たため、選択肢に新たに「その他（具体的に）」を設けることにします。	
委員	冒頭のリード文はもう少し具体的にアンケートの目的を示した方がいい	

	のでは。
委員	リード文の2行目と3行目の間を1行空けてはどうか。
事務局 (奥)	対応します。
委員	Q.6については、市内のものといった限定はされていないのか。
事務局 (奥)	限定されていません。その旨の注釈を追加します。
委員	無作為に抽出した約200人の市民を対象にとあるが、これはどうやって抽出するのか。
事務局 (奥)	住民基本台帳システムからランダムに抽出をします。
委員	ガラス展のアンケートを見てきたが、10代はほとんどまともに答えておらず、わからないといった声が多かった。文章や文言をもう少しかみ砕いたものにしてもよいのでは。
委員	たしかにQ.7、Q.12は子どもたち(中学生)には、答えるのは難しいかもしれません。
事務局 (奥)	<p>フリートーク</p> <p>前期行動計画のP8にある、担い手の育成・若手芸術家の活動支援と、芸術振興に資する活動に対する支援の実施というのが項目として上がっているが、それを具体的に何かイメージされているものが皆さんの中であればお伺いしたい。市としても補助金ということで予算を取っていきたいが、具体的なイメージができていないため、皆さんの意見を参考にしてより具体化していきたいため、協議していただきたい。</p>
委員	下関市に、若手芸術家の支援を目的に助成金オーディションを主催している下関・NPO法人「芸術・若い芽を育てる会」という会がある。竹内委員がよくご存じのはず。
委員	前期行動計画のP7に「本市の実情を把握する」とあるが、これはできているのか。
事務局 (奥)	できていません。

委員	<p>どの芸術家を支援したいのかっていうところが見えてこない。芸術家といえども、地元の方を楽しませるために活動されている方（アマチュア）もいれば、全国で活躍し市のPRにも尽力いただいている方（プロ）を支援するのかというところもわからない。</p> <p>ガラスであればガラス作家、かるたであればかるた協会を支援するように、市で特に力を入れている2つに対し支援を強化していくものなのか。それと、コーディネーターは例えば文化会館で音楽のイベントを開催するために必要なコーディネーターということなのか、文化は範囲が広すぎるので、色々な選択肢があると思う。</p>
委員	<p>文化は多種多様なので、特化したものに対する支援にするのか、平等支援にするのか。どうするか。</p> <p>ちなみに文化協会では、要綱を定めて条件を満たす芸術家に助成金を交付している。</p>
委員	<p>まずは現状をとにかくしっかり把握するっていうところが大事かと思う。私が以前住んでいた市では、総合センターというのがあり、3階建てで、400人ほど入るホールで年に1回、市全体の文化祭が開催されていた。小、中、高、大学各学校の代表の、例えば鼓笛隊や、吹奏楽部、書道部など、その中でも成績の優秀な部しか出場できないが、全部を1つの施設の中で、コンサートや展覧会をしていた。そこに、一般の方や、市民楽団の人、日本舞踊の人とか等いろんな方が来られていろんな芸術家が朝から夕方までずっと発表や演奏をしていた。そして最後にプロの方がコンサートをやって終わりというイベントがあった。それ以外は特に何もイベントはないが、やっぱり小学生のお子さんで、そこに出たいっていうか、一生懸命練習しようっていう子もいましたし、学校で取り組んでいるところもあった。</p>
委員	<p>市民音楽祭が昔、山陽小野田市にあったと思うが、今はもうないのか。</p>
委員	<p>なくなったと思う。</p> <p>市内に文化に関わる人が潜んでるのがわからないっていうのは、やはり手を挙げてもらうしかない。手を挙げた人の中から、ある程度この市に貢献できるかを見た上で支援します。という風にまずは全員に投げかけて、この市に眠っている芸術家を、吸い上げていくっていうことが大事かと思う。</p> <p>それと、持続的な文化度の高さを保つためには 学校だと思う。特に高校だと考えている。小野田高校は、かるたがあるとか、小野田高校はこんな音楽がある、こんな美術ができるっていうので、中学もそのために行</p>

委員	<p>きたい、小学校もそのために行きたいっていうので、卒業後は美術系の大学に行って、就職先があるっていうところまで子どもたちが見えていたら良いと思う。例えば、今、防府市は高校が吹奏楽が強い。だから、小学校も中学校もみんな強い。合唱が強い学校も、高校が強いから、中学校も高校も、小学校もみんな強くなってるので、1つに偏ってはいけないと思うが、高校を1つの題材としてシティセールスをするのであれば、そのための助成金を支援をして、中学校から、また小学校から、もう必ずこういう風に上げていくっていう路線を作っておけば、学校の間はずっと循環していく。これはわりと持続可能だと思う。この高校のこの部に行くっていうのを1つ作り上げることは、山陽小野田市の強みになるのかなって。だから、小野田高校かるた部にはこれからも頑張っていたきたい。</p>
委員	<p>やはり特化するのはいかがでしょうかと思う。小さい範囲で活動されている芸術家からすべてを対象に拾える範囲で拾っていった方が良いのではないかな。</p>
委員	<p>趣味よりしっかりやってらっしゃるような方に発表の場がないのは大きな問題だと思う。そこを市である程度面倒をみてあげたり、そこに来れば、いろいろな文化芸術に触れることができるというようなギャラリー要素に予算を割いていただくとか。そういうのが必要になってきたら、それをコーディネートする方がやっぱり必要になってくると思う。ガラスやかるたに関しては、コーディネーターっていうよりは、すでに専門の方がいらっしゃるんで、その方々にお任せすればいいと思う。</p>
委員	<p>持続的にしていくために1番大事なものは、小学校だと思う。熱心な先生がおられると、すごく良くなる。ところが、その時期の子供たちが卒業し、熱心な先生が転勤すると一気に衰退する。例えばブラスバンド。熱心なブラスバンドの指導ができる先生がおられるときは良い成績を修めるが、いなくなるとすぐダメになる。持続的に文化に携わる子どもたちが育っていくっていうのは非常に難しいので、そこにコーディネーターを持ってくると良いと思う。</p>
委員	<p>文化芸術を鑑賞するのもいいけれど、実際に自分たちが出演するっていう場がたくさんあるというのが、いろんな人の掘り起こしにはなりますよね。 さて、委員のみなさんが思う「文化」のイメージはどうか。</p>
委員	<p>人生における「彩り」だと思う。 文化に触れて感動することで、救われ、人生に喜びが増える。そして精</p>

	<p>神的にゆとりを生んでくれるものだと思う。</p>
委員	<p>子どもたちは文化なんかなくても大丈夫でしょみたいなどころがあるが、これがあつたら本当は人生もっと楽しくなるよ、生活するだけが精一杯じゃなくて、ちょっと自分らしさが味わえるよっていうところで、やはり文化の良さを味わうのにはやっぱり文化に触れないといけないので、しっかりと小学校の間に触れる機会がたくさんあるといいなと思う。特にお家の人、保護者の人に、今はどうしてもスポーツ分野だけに特化される傾向にある。スポーツのことなら親はいっぱいお金を出し、頑張れるし、連れていく。文化面でもそうなればいいと思う。ガラス展のチケットは無料なのにあまり行っていない。ハードルが高いのか、「万が一子どもがガラス作品を壊したらどうしよう。」と考える親が多いのかわからないが、逆にレノファ山口の観戦チケットは奪い合いになっていた。</p>
委員	<p>ガラス作品をみて、わからないけど「綺麗だな」と思うだけでいいのにもったいない。</p>
委員	<p>極端な話だが、ガラス展の会場入口にこのガラスは割っていいですよというコーナーを設けたら、こうやったら割れますから展示の作品には触れないでくださいといえる。市内の小学生に来ていただいてガラス体験をしていただいている。常にこういった文化に触れる機会というのを増やしていくことがまず大事じゃないのかなと思う。</p>
委員	<p>子どもは生まれて、親に育ててもらい、その地でその年にあった環境でいろんなものに出会っていく。親が自分の住んでいる地域の特性や誇りを理解し、子どもに落とし込んでいかないといけない。その後、小学校に入れば、今度は先生がその教育をしていかなければならない。このまちにはこういう文化があるんだということを知ってもらうことが大事である。かるたの出前授業で全小中学校をまわらせてもらっているが、本当は競技かるたの選手候補を取り込みたいが、なかなか難しい。子どもたちが大きくなり山陽小野田市から出て、別の地でかるたに触れたときに「あ、これ子どもの頃やったな」と片隅にでも残ってもらえればいいなと思って教えている。</p> <p>そういうのが少しでも積もっていったらいいし、生活が心豊かになるような方向になっていったらいいなっていう風に思っている。それと教育が本当に大事だと思う。そして途切れないように持続的にすることが本当に大変。</p>

委員	<p>きらら交流館（現在閉館中）で正月にお坊さんめくり大会をしていたが、例えば、市内全小学校対抗お坊さんめくり大会とか面白いと思う。あと、文化協会が、逆にどういった欲求があるかを市の方でしっかり把握していただくなど、いろんなどころの意見を聞いていただいた方がいいんじゃないかなと思う。</p>
委員	<p>有帆小学校では、学習発表会に、地域の方や生涯学習クラブの方も参加される。学校の発表会に保護者もいるし、地域の方もそこには来られるので、発表の場があって、展示物も学校内に毎月入れ替わりで地域の方や生涯学習クラブの方が展示され、発表会の時に、それを大々的に、大きなホールでやるので子どもたちの発表の場に地域が潜り込むことで、その地域の方の発表の場と、保護者の方の意識を向上させる場でもある。そういう風な小さいところがそれぞれの取り組みをするっていうことも大切だと思う。</p>
委員	<p>今現在、市と文化協会と学校がそれぞれがいろいろな取り組みや問題を抱えていると思うが、全員がバラバラに動くのではなく、これを1つのピラミッドにしてはどうだろうか。</p> <p>例えば、一番上を市の特化するガラスやかるたに設定し、文化の底を支えていただくのは、小学校で、地域の方も巻き込んでそういった発表の場があるというものに設定する。その間の層にあるさまざまな文化の団体の活動を支えていただくのを文化協会に担っていただく。というものの。</p>
事務局 (奥)	<p>次回のA班が終了後、委員のみなさんから頂いた御意見は集約し、アンケートに反映させる。アンケートは完成次第、委員のみなさんに共有させていただき、お示ししたスケジュールで配布を行う予定にしている。</p> <p style="text-align: center;">～終了～</p>